



◇遂に待望の新装備、16式機動戦闘車（MCV）と水陸両用車（AAV）が「総火演」で走行展示され、その機動性を披露してくれました。近々「水陸機動団」も新設されるとの事、今から来年の「総火演」が楽しみです。乞うご期待！！ 写真提供：笹川 茂夫



等で述べられる執行官の「我が国を取り巻く安全保障環境」云々は、こう成る事へのアピールだったのだと思えて成りません・・・？

だとすれば、次第にマスコミから遠退き、海・空と、むしろ執拗性を増している尖閣事案や核とミサイルで恫喝して来る北の暴挙は、我々自身に迫った緊急事態と自覚して置くべきなのでしょう。

「総火演」を見ていてつくづく思う事は、尖閣にしろ、北の暴発にしろ、結局の処事が起きれば、矛盾を承知で自衛隊の皆さんに頼わざるを得ないと云う現実です。

憲法を盾に「安保法制」を戦争法案だと声高に主張する吾人もいるようですが、国会承認を要するとなれば、存立危機も緊急事態法も在って無きが如しです。これではいくら自衛隊の皆さんに強固な防衛意識があっても、まず法的処遇や交戦規定を明確にしない事には、折角の氣勢を削ぐばかりで、出動どころの話ではありません。

ミサイルが主役の近代戦では、機を逃せば瞬時に壊滅的打撃を受けてしまう事は明白です。

事態は南シナ海を含め、国際社会を巻き込む程逼迫しています。にも関わらず依然楽観的風潮の蔓延る日本は決して健全な主権国家とは言えません。何はともあれ、我々国民の絶対的支持があつてこそ国を動かし、自衛隊の皆さんにも納得して頂ける唯一の手段である事を最後に提言させて頂きます。

